

教育研究所だより

令和8年度（2026年度）

7月号（通算265号）

き どう 輝 動

（きどう：子どもが輝き、躍動するまち）

近江八幡市教育研究所

TEL 0748-36-5574

FAX 32-3352

メール

044800@city.omihachiman.lg.jp



教員を続けてきた中で大切にしてきたこと

近江八幡市立安土中学校 校長 山岡 慶子

今回、このような紙面に執筆の機会をいただき、大変恐縮しています。ここ数年、特に自分の立場に自問自答することが多いのも事実です。丙午の誕生月に私の思いを書かせていただくのも何かのご縁だと思い、これまで教員を続けてきた中で教えていただいたこと、学んだこと、大事にしたいと思ったこと5つを記してみます。

まず1つ目、この仕事を続けていく中で後押しされた言葉。2校目の赴任校の教頭先生からの言葉「ずっと働くのであれば、そのように子育てすればいい。」でした。「そうだ！」と頭の中でガッツポーズしました。親族は勿論、保育所・学童・学校・地域の方・友達の保護者など大勢の方とのつながりの中で、これまで働き続けることができ、2人の孫の“ばあば”にもしていただきました。

2つ目、生徒（子ども）の見方です。思春期の中学生、いろいろなことが起こります。生徒指導の対応で意見を出し合い悩む中で、当時の学年主任が言った言葉。「どんなことをした生徒でも、心は我々大人の心より白い。大人は、長く生きてきた分だけ心もいろいろな色に染まってきているものだ。」目から鱗でした。確かに、自分の心を思うと、ずるく様々な色を重ねているなど納得しました。目をつり上げながらも、この子らの心の方が私より白いなとふと冷静になり、かける言葉を考えるようになりました。

3つ目、食事前の「いただきます」と授業での「お願いします・ありがとうございました」を大切にすることについて。「いただきます」は、いうまでもなく命をいただきますということを伝えること。授業の初めと終わりには、お互い学ぶことへのお願いとそのお礼をこめること。そして、生徒だけでなく教員も「生徒の様子・発言から自分の授業の在り方を学ばせてもらうことになるのでお願いします。」1時間、生徒の反応や発言で新たな気づきができたことへのお礼のありがとうございました。」だということ。これも、教員になって早い時期に聞かせてもらって忘れず心掛けてきたことです。勿論、生徒にも話をして伝えます。

4つ目、就学前教育にかかわる講演会で聞いた中井清津子先生の言葉です。「乳幼児期は肌を離さず、少年期は手を離さず、思春期は目を離さず、青年期以上は心を離さず（多少記憶が違うかもしれませんが）」親子関係についての講演会でした。自分の中で腑に落ちた言葉でした。

5つ目は、作家の寮美千子さんの本との出会い（コミュニティセンター、まちづくり協議会主催の“すみまち講座”でご本人とも出会う機会がありました。）です。奈良少年刑務所でされていた「社会性涵養プログラム」でのお話。『子どもは「なにを教えられたか」ではなく、「どう接せられたか」から学ぶ』という言葉です。

4つ目と5つ目は、保護者等にお話しするときに使わせていただくこともあります。

現在の職を担う立場としては、これからの学校教育の仕組みや学び方、教員の働きやすさや人材育成など戦略的に思考していくことは必要なことで注力しなければならないことです。その一方で、それらを受けとめ活用できる、生徒の豊かな素地を成長させることも、大切に伝えていける教員でありたいと思います。

【研修・研究事業報告】

★第Ⅰ回近江八幡市初任者研修

日時 6月4日(木)

場所 近江八幡市給食センター(午前)
近江八幡消防署(午後)

□研修Ⅰ「教育長講話」 近江八幡市教育長

□研修Ⅱ「社会人としてのマナーについて」

近江八幡市まちづくり協働課 課長

□研修Ⅲ「学校給食について」

八幡中学校 栄養教諭

□研修Ⅳ「普通救命講習会」

東近江行政組合消防本部 近江八幡消防署員さん

「教育長の講話」から考えたこと、今後に生かそうと考えたこと

私は世界の社会情勢を自分から調べることがなく、日本国憲法を深く読み込むこともありませんでした。これからの社会を生きていく子どもたちを育てないといけない立場で、自分自身が社会の動きを把握していないままではいけないと考えを改めることができました。また、最初のお話に出てきた「教員はかけがえのない経験に立ち会えることができる」という言葉から、日々忙しさのあまり、あっという間に1日が過ぎていってしまいますが、「同じ日は来ない」ということを頭に置きながら1日1日をもっと大切にしながら生活しなければならないと改めて感じることができました。



「マナー講座」を受け、心に残った言葉や演習から今後に生かそうと考えたこと



分かってはいたつもりだが、学校の職員以外から見たら、私は本校の教員であり、新任という立場はまったく関係ないことを改めて自覚した。私は電話対応が苦手だが、「教員」であり、「社会人」であるということを自覚し、対応しようと決意した。本講義の内容はそのために必須なものであり、私は敬語が苦手なので、正しい敬語の問題は大変ためになった。また、児童に対しても1人の人間として大切にすることを心がけているが、宿題の丸付けをしなければ間に合わないときに児童に話しかけられたら丸付けの片手間に話すなど、失礼なことをしていたと反省した。中途半端に相手をするので

はなく、子どもの話したい思いを大切に、しっかり子どもと向き合うようにしたい。

「学校給食について」の講話や施設の見学を通して、今後の給食指導に生かそうと考えたこと

学校給食は単に食事をする時間ではなく、子どもたちが「食」について自ら気づき、考え、実践する生きた教材であり、貴重な指導の時間なのだと実感しました。近江八幡市では、地場産物の赤こんにゃくや丁字麩などの特産物を取り入れた「はちまんの日」をはじめ、「かみかみの日」「減塩の日」など、年間指導計画に沿った様々な工夫がされていました。さらに国語科「サラダでげんき」と関連付けたメニューや、動画資料の活用など、教科と結びついた楽しい取組があることにも驚きました。給食の時間を通して、子どもたちが自分に合った適量を知り、食への知識が深められるよう、日々の声掛けや丁寧な指導を大切にしていきたい。



「普通救命講習」を受け、今後に生かそうと考えたこと



今日一番感じたのは、いつ何時でも、子どもの命をつながなければならない場面が来ることを意識しておくべきということである。万一のことがあったときは、「自分が命をつなぐ」と思っておかないと、いざそういった場面に遭遇した時に、動くことはできないだろう。何かあったときに、命をつなぐ行動のポイントを理解しておき、定期的に思い起こし、具体的なシーンをイメージしておくことは万一の時に役立つはずである。そういった時にこそ、積極的に本番を想定して、行動すること、そして準備しておくことが子どもの命を守ることにつながる。

(受講者の振り返りより一部抜粋)

◇夏期研修講座案内◇

校種を問わず、ご参加いただけます。申し込みについては、校園所を通じて申し込みを行ってください。
お一人、何講座申し込んでいただいても大丈夫です。たくさんのご参加をお待ちしています！
なお、どの講座についても筆記用具と上靴と水分補給できるものをお持ちください。

講座番号の下の
Eから始まる番号は
plantの研修番号です。



指定 研修	教 職 二 初 年 次 者 教 員	7月21日(火) 14:00～16:30 金田コミュニティセンター 2階 多目的ホール	「教師の働き方改革―若手教員の悩み解決15項」
		7月22日(水) 14:00～16:30 金田コミュニティセンター 2階 多目的ホール	「教師として生きるために」
	教 中 員 堅	8月4日(火) 14:00～16:30 武佐コミュニティセンター 1階 多目的ホール	「不登校支援対策～データから見る市内の不登校の現状～」 「本市の未来を切り拓く生徒指導 ～中堅教諭が核となるチーム学校の構築～」
教育 相談 講座	1	7月23日(木) 10:00～11:30 桐原コミュニティセンター 2階 大会議室	「不登校支援のために必要な情報の集め方」(仮)
	2	7月30日(木) 14:00～15:30 武佐コミュニティセンター 1階 多目的ホール	「ケース会議を効果的に進めるためのアセスメントの視点」(仮)
	3	8月4日(火) 14:00～15:30 武佐コミュニティセンター 1階 多目的ホール	「不登校支援対策～データから見る市内の不登校の現状～」
保 育 ・ 授 業 力 ア ッ プ 講 座	1	8月3日(月) 13:30～15:00 岡山小学校 音楽室	就学前教育における実践交流会
	2	8月6日(木) 10:00～11:30 馬淵小学校 被服室	「福利厚生 of 事業を活用しよう!パートII」 「ちょこっと勤怠」
	3	8月6日(木) 14:00～15:30 武佐小学校 理科室	プログラミングキット「MESH」を使った理科の授業
	4	8月7日(金) 10:00～12:00 金田小学校 1階 会議室	小・中外国語教育における 「個別最適学び」と「協働的な学び」の充実 ～理論と実践を通して～
	5	8月18日(火) 14:00～15:30 北里小学校 5年1組教室	「子どもが問いを立て、自ら読み進める 国語科の授業づくり」
	6	8月19日(水) 14:00～15:30 学校給食センター 2階 研修室	学年経営講座 ・学年主任として学年経営をする中で心がけていること、大事にしているポイント ・学年会のもち方 等 パネルディスカッション形式
	7	8月21日(金) 10:00～12:00 市役所 4階 委員会室②	「特別な支援を必要とする児童・生徒の理解と指導 ～こんな子いませんか?～」 「保健室から見る子ども～頻回来室をどう見るか～」
	8	8月21日(金) 14:00～15:30 岡山小学校 音楽室	「鑑賞授業へのつながりを意識した歌唱指導」
	9	8月25日(火) 10:00～11:30 金田小学校 1階 会議室	「探究的な学びを探究する」 ・探究的な学びとは? ・就学前の視点からの探究について ・小学校社会科での実践事例 ・探究的な学びについて(パネルディスカッション)
	10	8月25日(火) 14:00～16:00 金田小学校 2階 多目的ホール	「思考ツールを実装しよう ～ロイロノートでの効果的な活用を考える～」

令和8年度 教育研究奨励事業の応募者及び研究主題一覧（順不同・敬称略）

種別	研究主題	所属校園
個人	思いを表しながら夢中になって遊ぶ子どもを目指して ～子どもの思いを遊びにつなげる 保育者の援助の在り方とは～	老蘇こども園
個人	子どもが主体となる授業づくり ～地域・学び・人がつながる 探究型ふるさと学習を目指して～	八幡小学校
個人	子どもが主体となる国語科の授業づくり ～自ら「問い」をもち、学びを実感することを通して～	八幡小学校
個人	地域学習を通して主体的に考え判断する児童の育成 ～身近な宝物（地域資源）を見出し、 発信する総合的な学習の時間の試み～	島小学校
個人	極少人数の特性を生かした探究的な体育科の学習の在り方 ～異学年交流による主体的・協働的な学びを通して～	沖島小学校
個人	ロイロノートを活用した協働的な学びの充実 ～考えを共有し、対話を通して 学びを深める児童の育成～	岡山小学校
団体	自らの思いを伝えられる金田っ子の育成 ～目の前の子どもを出発点に、「もっと書きたい」から 「書けた」につなぐ授業づくり～	金田小学校
個人	自情クラスにおける安心感と自己肯定感を育む支援の工夫 ～児童理解に基づく関わりを通じた主体的な学びの促進～	桐原小学校
個人	自力解決の充実を目指した算数科学習の在り方 ～学びの手がかりを活用した主体的な問題解決を通して～	桐原東小学校
個人	安心して参加できる算数科の授業づくり ～積みのこしの積みなおし、新しく積み上げる～	安土小学校
個人	問いと対話で読みを深める児童の育成 ～「サーカスのライオン」における探究的な学びの工夫～	老蘇小学校
団体	発達支持的生徒指導の実践による学校文化の創造 ～八幡東中学校5年間の取組～	八幡東中学校
個人	学びあい・教えあい活動を中心とした探究的な学び ～数学を通して生き抜く力の育成を図る～	八幡東中学校
個人	生徒の学習意欲を高める数学科授業についての研究 ～生徒の「問い」をいかした授業を通して～	八幡西中学校
団体	「つながる集団」と「つながる学び」 ～「探究的な学び」を生み出す学習活動の展開～	安土中学校

積極的なご応募ありがとうございました